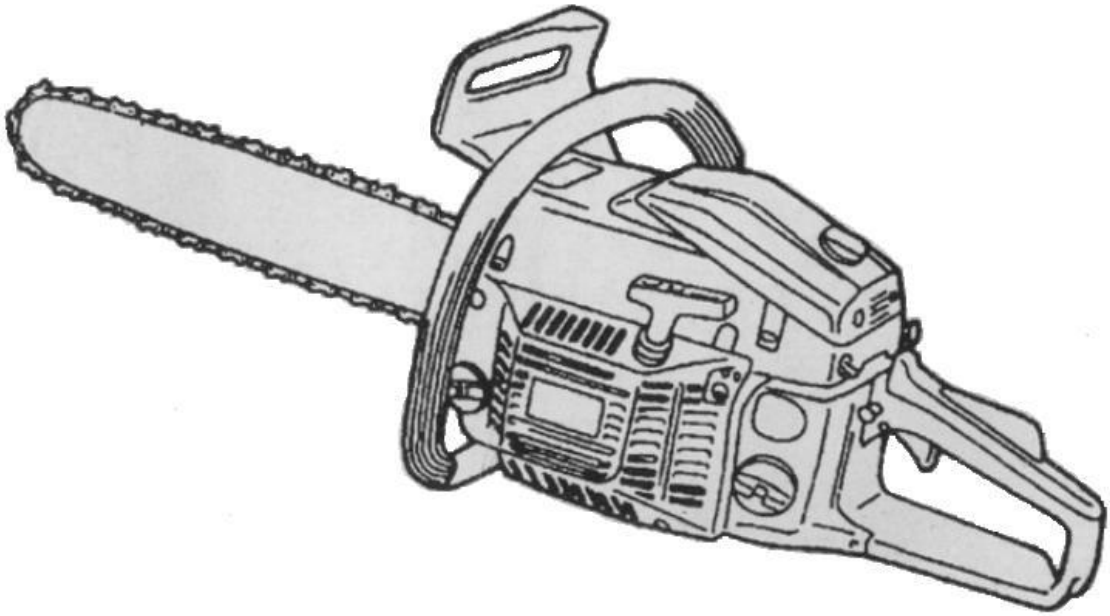
ガソリン　チェーンソー

取扱説明書



このたびはハイガー製チェーンソーをお買い上げ賜わり厚くお礼を申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

⚠安全第一

注意文の⚠警告・⚠注意・注の意味について

ご使用上の注意事項は⚠警告・⚠注意・注に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

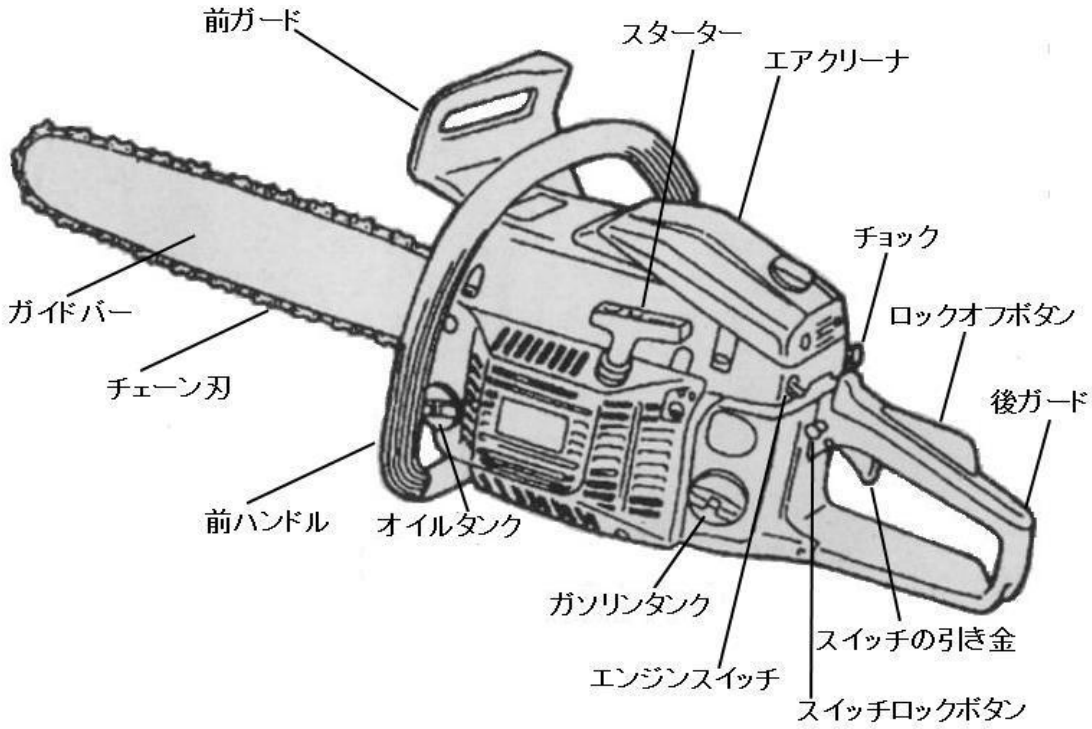
⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

目　録

1. 各部の名称・・・

1. 各部の名称



2. 表示ラベルの意味

（1） ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みください。

（2） ヘルメット、保護メガネ、防音保護具を着用してください。

（3） 両手でチェーンソーを使用してください。

（4） はね返りは危険です！

（5） 要注意

3. 銘板

銘板の各表示意味をしっかり理解把握し、

間違えないようお取り扱ってください。

（a）　使用燃料は「混合ガソリン」
　　位置：ガソリンタンク

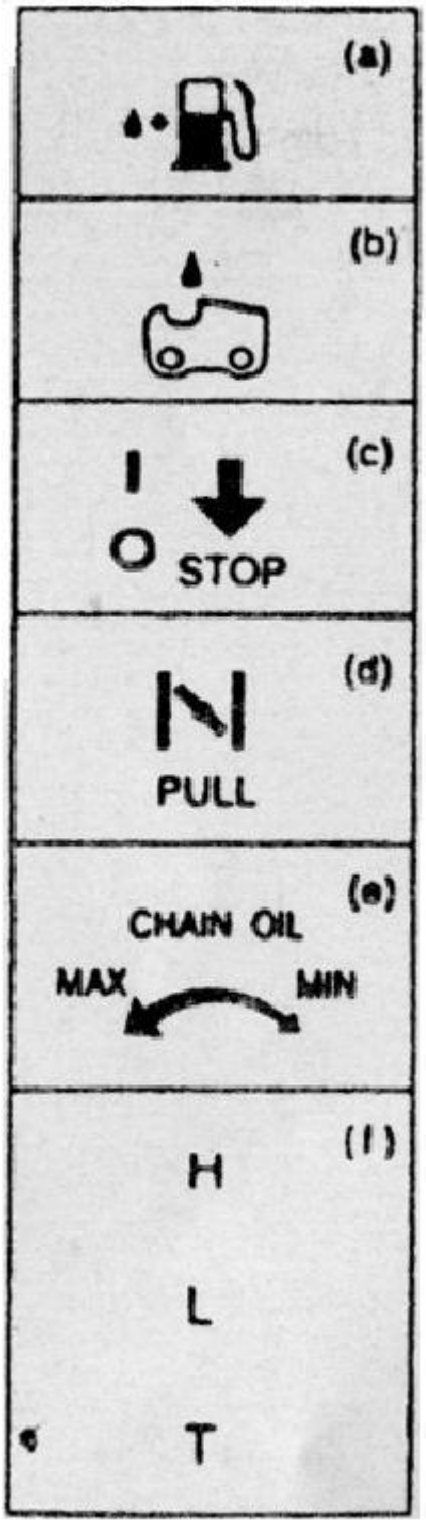
（b）　使用オイルは「チェーンオイル」
　　位置：オイルタンク

(c)エンジンスイッチ：　〇　はストップ
　　位置：本体後左側

(d)チョックの指示マーク
　チョックノブを引っ張り出し、チョックが閉める
　位置：本体後右側

（e）チェーンオイル調整ナット指示マーク
　MIN：　オイル量を少なめにする
　MAX：　オイル量を多めにする
　位置：クラッチ側の底面

（i）エンジン回転速度調整指示マーク
　H：　加速回転
　L：　減速回転
　T：　エンジン低速で空回り
　位置：本体後左側



4. 安全上の注意事項

a. ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

b. お酒、ビール、眠るなるような薬などを服用した場合は、作業をお避けてください。

c. 室内にチェーンソー使用をお避けてください。作業中有毒一酸化炭素が発生するため。

d. 以下のような環境で作業を避けてください。
   1. 地面滑りやすい時、また不安定な場所。
   2. 夜中、霧が重い時、またはライトが暗い時など、視野が制限された場所
   3. 雨、雷、大風の中、または天気が悪い時

e. 初心者はベテランから使用経験を聞いて下さい。

f. 睡眠不足、疲労、集中力ない時は、事故傷害が発生しやすくなり、休憩しながらの作業を勧めます。10 分作業後、10～20分休憩を取る。1日2時間以内に作業時間を制限してください。

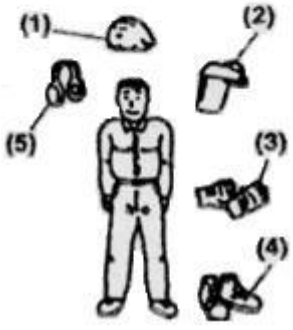
g. この取扱書を保管してください。ご不明点などがある時はお調べできます。

h. 他人に本機を借りる時にも、取扱書を同梱ください。

i. 未成年者、未経験者のご使用は禁止です。

■作業保護用具と作業服

a.作業時は以下保護用具と適切な作業服を着用してください。



（1）ヘルメット
（2）顔面保護帽子
（3）丈夫な作業手袋
（4）滑らない作業靴
（5）防音保護耳カバー

b.以下物も携帯ください。
（1）同梱道具、取扱書
（2）予備の燃料とチェーンオイル
（3）作業場の標識グッズ（警告板、ロープ）
（4）口笛（共同作業、または緊急時用）
（5）手おの、のこぎり（障害物撤去用）

c.　短パン、スリッパ、はだし作業は必ずおやめ下さい。

■燃料扱いに十分ご注意ください。
a.本機の使用燃料は混合ガソリンで、非常に燃えやすいです。燃料を保管する時、または補給する時は、周りに十分ご注意ください。お鍋で煮もの、薪火、電機スパーク、溶接スパークなど一切熱や温度を上げる物から離れください。

b.タバコを吸いながら本機を使用、または燃料補給するのは非常に危険です。作業時は一切タバコを吸わないで下さい。

c.燃料補給時はまずエンジンを止めて、周りに電機スパークや炎がないことを確実に確認ください。

d.補給時燃料こぼれがあったら、乾燥した布できれいに拭き取って下さい。それからエンジンを再開ください。

e.補給後、燃料タンクのふたをしっかり締め付けください。それから燃料補給場所と3メートル離れた場所から作業再開ください。

■エンジンをかかる前に
- 作業場をチェック、カットする対象物と倒れ方向を判断し、障害物などを撤去してください。
- きれいな作業場を確保できるまでには、カット作業始らないで下さい。倒木から逃げられる方向と場所を確保ください。
- 警告板を使い傍観者、動物などを安全な距離以外に隔離ください。
- 故障がある機体の使用はお止め下さい。チェーンソーが正常に運転、ストップできることを確保ください。

■エンジンかけたとき
- 作業中両手で機体をしっかり握って下さい。親指で機体を固定し、ほかの指で機体を握って下さい。
- 手を伸ばして、体を機体から離れて作業下さい。

■操縦注意事項

- 両手はガソリンなどに濡れてなく乾燥した状態
- エンジン回転中にはマフラー、スパークプラグなどエンジンの金属部品を絶対触ってはいけない。感電する恐れがあります。
- 小さい物、若木などを切る時は機体が跳ね返り、木の繊維に引っ掛かり立て姿勢バランス崩されたり可能性があるため、十分気をつけましょう。
- 倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考えて倒す方向、避難する方向を決めます。
- 使わないときは必ずエンジンを止めてください。

■安全注意事項をまとめて見ましょう

- ご使用時にいろいろな疑問点、不明点が生じると思います。その時は、まずこの取扱書を再度読んで頂き、不正確な操縦が人身傷害を引き起こす恐れがあるため、操縦時は十分気をつけましょう。

- チェーンソー自身だけのカットに頼りすぎないで、カット技を身に付けながら楽に操縦していきましょう。

（1）　操縦時に現れる現象をよく把握し、落ち着いて処理しながら、経験を積んでいきましょう。

（2）　常時両手で操縦することを覚えときましょう。右手は後ガードハンドル、左手は前ハンドルを握り、エンジン起動後、親指で機体をしっかり押え、ほかの指でハンドルをしっかり握って下さい。しっかりした把握力が機体跳ね返る可能性を減少し、機体コントロールにもより有効になる。

（3）　カット現場には障害物などを先に撤去してください。ガイドバーの先端部での、切断はしないで下さい。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないよう作業してください。

（4）　エンジン高速回転でカット作業しましょう。

（5）　本機に無理な力を加えないで下さい。また、肩より高いところの物を切断するのはお止め下さい。
（6）　取扱書通りに本機を操縦し、チェーン刃へは必要なメンテナンスを行ってください。
（7）　同じ製造メーカーのガイドバーとチェーン刃をご使用ください。

■メンテナンス
- 機体をいつも快調な運転状態に保つため、取扱書の保守・点検篇通りにメンテナンスを行いましょう。
- 機体を検査またはメンテするときは、必ずエンジンを先に止めてください。

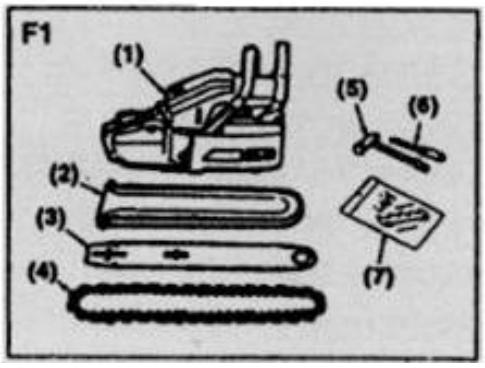
警告！

エンジン止め直後は機体金属部分がすごく熱い。

- やけどの恐れがあるため、気を付けましょう。

■チェーンソーの持ち運び
- チェーンソーを持ち運ぶときは、チェーンカバーをガイドバーにかぶせ、マフラーを体から離れて、前ハンドルを持って運んでください。

5. ガイドバーとチェーン刃の取り付け



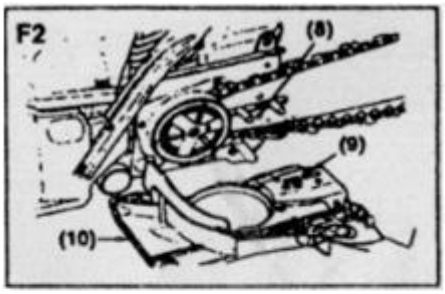
機体と同梱しているパーツは以下の通り:
（1）　パワーユニット
（2）　チェーンカバー
（3）　ガイドバー
（4）　チェーン刃
（5）　点火プラグスパナ
（6）　キャブレター調整用ドライバー
（7）　スパイクとネジ

以下の手順とおりにガイドバーとチェーン刃を取りつけましょう。

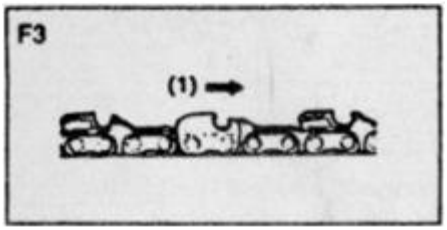
警告　！

チェーン刃の刃部分がすごく鋭いので、手袋着用の取り付けをお勧めです。

1．ガイドを前ハンドル方向に引き、チェーンブレーキがかかっていないことを確認。
2．ナットを緩め外して、チェーンカバーを開く。
3．附属品小袋に入っているスパイクをパワーユニットに取り付けます。
4．チェーンを歯車に取り付け、ガイドバーの先端にチェーン刃を入れ、他端を本機のスプロケット部に入れてください。ガイドバーの下部穴にある調整ナットを通じて、チェーン刃の張りを調整します。(F2)



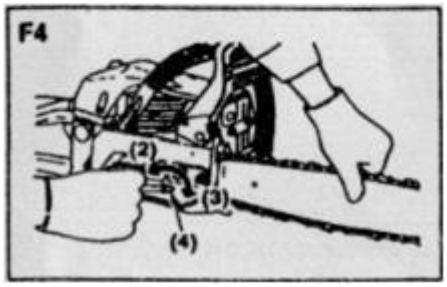
（8）調整穴
（9）張り調整ナット
（10）　チェーンカバー



注意

チェーン刃は図(F3)の矢印方向に回転しますからチェーン刃の方向をイラストのようにセットしてください。

5．　チェーンカバーをかぶせ、ナットでしっかり締め付けます。
6．ガイドバーの先端を手で押さえ、張り調整ナットを回しながら、チェーンの張りをぴったりガイドバーに嵌めこまれるまで調整してください。
7．ナットをしっかり締め付け、手でーンの回転がスムーズか、適切な張り状態になっているかを確認し、必要な場合は、チェーンカバーを開けて、再調整してください。
8．張り調整ナットにネジをしっかり締めます。



F4 図（2）　緩め
（3）　締め付け
（4）　張り調整ナット

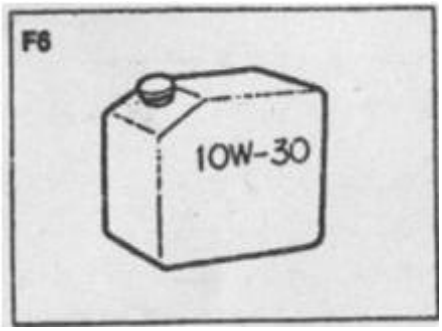
注意

チェーンの張り状態が直接使用寿命にかかわります。しばしばチェーンの張り状態を調整して見てください。緩めたチェーンは容易に脱線されたり、摩耗し易くなったり、ガイドバー損傷し易くなる。

6. 燃料とオイル

■燃料

空冷2スト専用の混合ガソリンをご使用ください。エンジントラブルのほとんどの原因が直接、または間接的に使用した燃料と関係があります。燃料補給時に十分気を付けましょう。



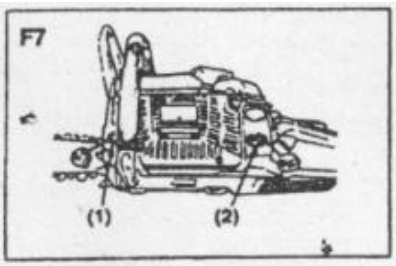
■チェーンオイル

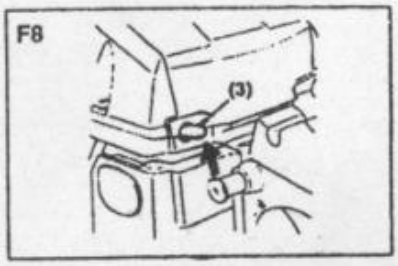
年中 Motor oil SAE#10W～30 を使用するか、
夏は SAE#30～40 を使用し、冬は SAE#20 を使用することもできます。

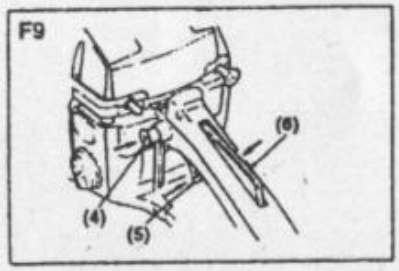
注意

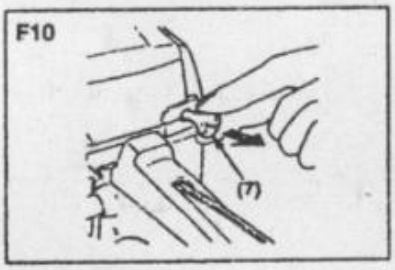
廃油、またはリサイクルされたオイルの使用はお避け下さい。オイルポンプにダメージする恐れがあります。

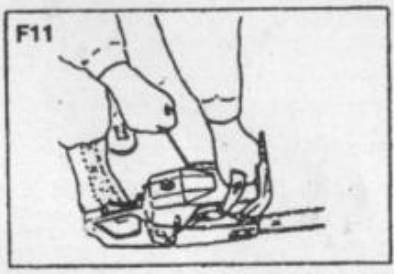
7. エンジンのかけ方

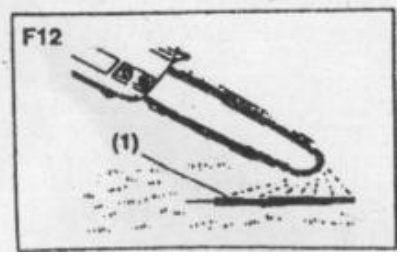












■エンジンスタート

1. 燃料とオイルをそれぞれ補給し、ふたをしっかり締め付けてください。(図 F7)
2. スイッチを 「 I 」位置に切り替え。(図 F8)
3. ロックオフボタン(6)とスイッチ引き金(5)を同時握りながら、スイッチロックボタン(4)を押して、スタート位置に戻させます。(図 F9)
4. チョックノブを引っ張り出し、閉め位置にする (図 F10)
5. それから機体を床に置き、スタータロープを引っ張って、エンジンを暖機させます。(図 F11)
6. エンジンがかかりそうなところに、チョックノブを元に押え戻し、スタータを再度引っ張ってエンジンをスタートさせます。
7. そのままスイッチ引き金を少しずつ押さえ、エンジン回転が順調になってから作業に入って下さい。

注意！

エンジン停止直後に、エンジンを再開する時は、チョックノブを引っ張り出す必要がありません。

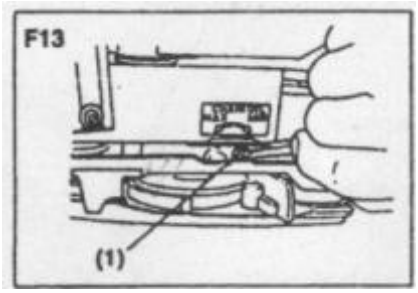
図の中のマーク意味:

(1) チェーンオイルタンク
(2) 燃料タンク
(3) エンジンスイッチ
(4) スイッチロックボタン
(5) スイッチ引き金
(6) ロックオフボタン
(7) チョック

警告！

片手だけエンジンをスタートした機体を持ち上げるのは非常に危険です。体に当たる恐れがありますので、必ず両手で持ち上げてください。

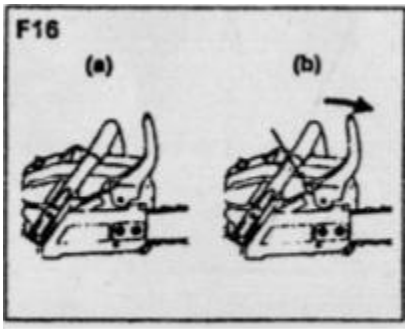
チェーンはいつもきれいな状態に保って下さい。エンジンかけた後、中速度でチェーンを回し、ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認してください。(図 F12)



チェーンオイル交換

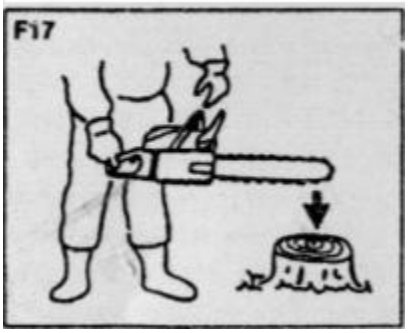
クラッチ側の底面にある穴をネジドライバーで押しつけば、チェーンオイルが交換できます。交換頻度は使用状況により。（図 F13）

チェーン壊れた



チェーンが壊れたとき、機体が自動的に回転をストップする仕組みになっているため、作業中急に跳ね返る可能性があります。ご注意下さい。また、人為的にも前ガードを押し倒せば、ブレーキもかけられます。（図 F16）

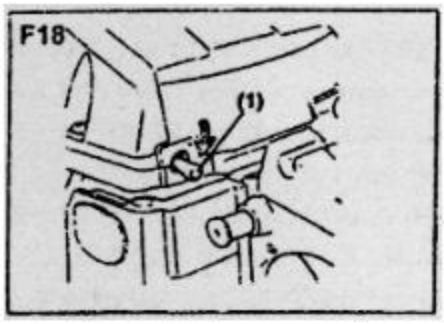
ブレーキを解除するときは、前ガードを前ハンドル方向に引き起こし、「クッリ」という音が聞えます。



注意！

作業前にブレーキのかけ具合をチェックしましょう。
チェックの仕方：
（1） エンジンを止めて
（2） チェーンソー機体を水平に持ち、前ハンドルから左手を離れ、チェーンソー先端を切り株などに当てて、ブレーキ具合をチェックする。ブレーキかけ不可、またはかけてもエンジンは止まらないときは、すぐエンジンを止め、弊社までご連絡ください。
※ブレーキがかけてもエンジンが止まらないときは、すぐにエンジンを止めないと、クラッチが過熱になり、故障する恐れがあります。

■エンジンをストップする
1. スイッチの引き金から指を放し、エンジンが空回りの状態にしばらく置き。



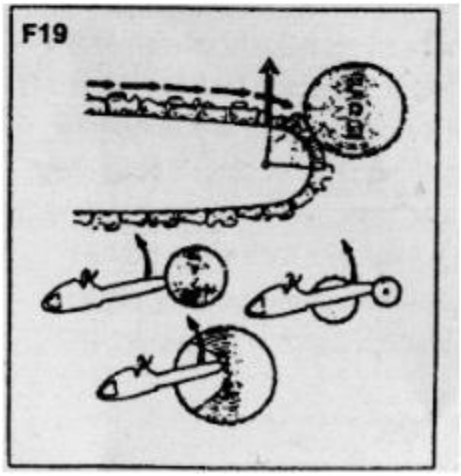
2. エンジンスイッチを「〇」(STOP)位置にする。(図 F18)

8. 使い方

注意！

- 作業に入る前に、安全使用の注意事項を必ず先にお読みください。機体構造に対する理解を深めるだけでなく、作業もよりしやすくなる。
- 常に安全注意事項をこころがけ、安全第一で作業を進めましょう。このチェーンソーが木材切断だけにご使用ください。その他材質をカットするには使用しないで下さい。チェーンソーを使って物を運んだり、揚げたり、割れたりはしないでください。木材切断以外の目的に使用されるのは禁止です。
- 木材切断するときは、本体に無理な力を加えないで下さい。
- チェーンが木材の中に引っかかられたときには、無理な力でチェーンを抜き出さないで、くさび(V 字形のもの)、レバーなどを使ってチェーンを取り出してください。

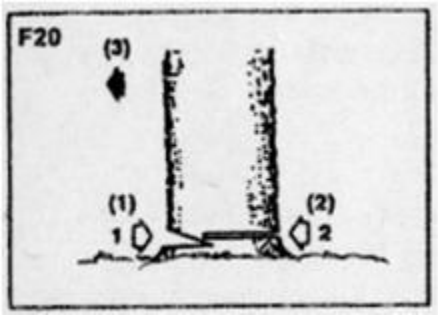
■ガイド跳ね返(図 F19)



- このチェーンソーがチェーン壊れたとき自動的に回転をストップする設計になっており、正常な切断作業中でも急に跳ね返る可能性があります。毎回使用になる前に、まずチェーンを 1-2 秒フル回し、前ガードを押しブレーキかけ、チェーンがすぐ停止できるかどうかを確認してください。チェーンがゆっくりストップ、またはぜんぜんストップしないときは、ブレーキバンドとクラッチドラムが交換必要になります。
- チェーンソーのオリジナルパーツは跳ね返るなど危険にもたらす傷害を最低限に抑えるよう設計しており、機体の安全パーツを交換したり、不適切なメンテナンス、または不正確なチェーン、ガイドバーなどの使用により機体が不安定となり、操縦者へは厳重な人身

傷害をもたらす可能性があります。

■木を切断する（図 F20）



1．木を倒させる方向は風、樹幹の傾き、枝の傾き、または搬出作業しやすいなどの要因から決める。

2．木の周りの障害物を撤去し、木が倒れるときの逃げ場も確保。

3．　木を倒させる側に 1/3 深さの V 字形を切り開き。

4．V 字形開きの反対側に、V 字型の底よりやや高目にストレートにカットする。

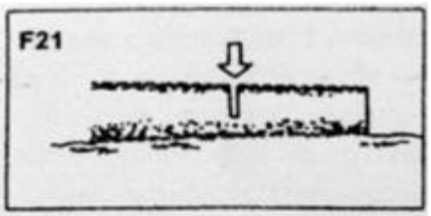
注意！

木を切断するときは、周りの作業者同士へ必ず事前に知らせときましょう。

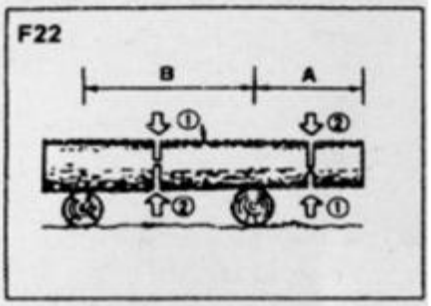
（1）　V 字型カット
（2）　ストレートカット
（3）　木が倒れる方向

注意！

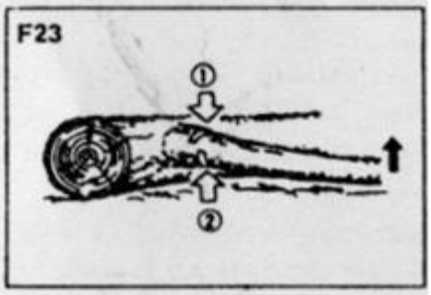
- 足を踏むところは十分ご注意しましょう。丸太の上には絶対立ってはいけない。
- 丸太を切断するときは必ず周りの人へ報せときましょう。特に傾斜する山地で丸太を切断する時は、必ず木より高い側へ立って下さい。
- 安全注意事項に従い、チェーンの跳ね返り可能性を最小限に避ける。



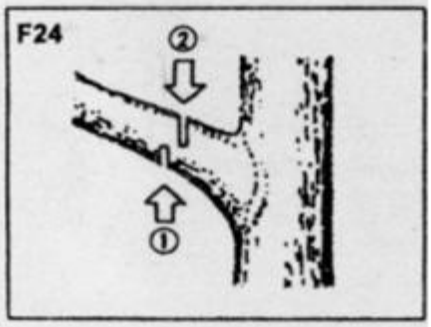
丸太を平坦な地面に横倒し(F21)、動けないよう固定し、細い側から切断し始める。



丸太を地面から高く敷きます。(図 F22)の通り、丸太を上下両側から切断する。



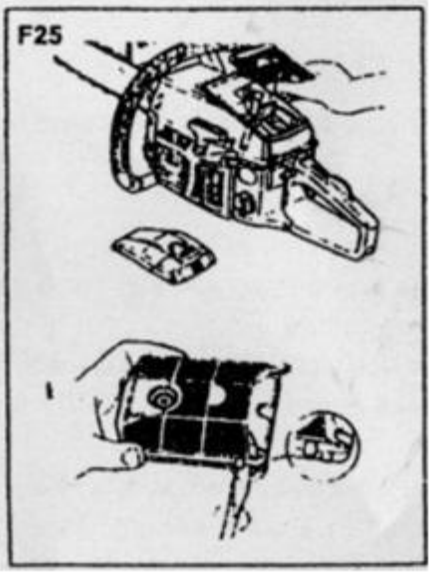
太い枝を切断(図 F23)
同じくＶ字型切り口を開き、反対側からストレート切断する。



枝をせんてい(図 F24)
下部から切り始め、上部から切断する。

注意！

- 不安定なはしごには立たない。
- カットしすぎないよう心がける
- 肩より高いところをカットしない
- 常に両手で機体を操縦する。



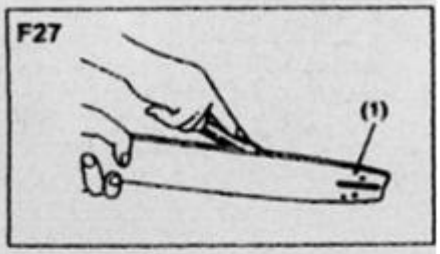
９．保守・点検について

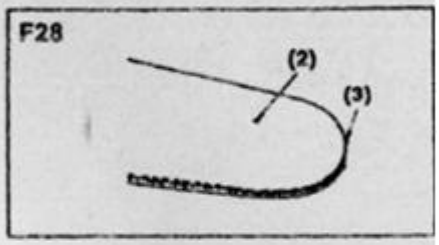
注意！

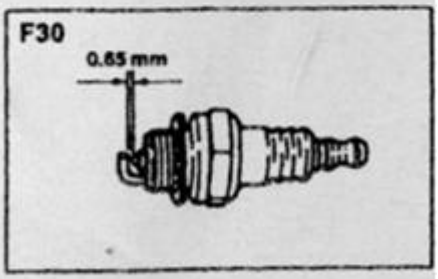
機体を清掃、調整、修理するときは、必ずエンジンがストップ状態で常温に戻したことを確認してください。意外点火を避けるため、点火プラグを抜いてください。

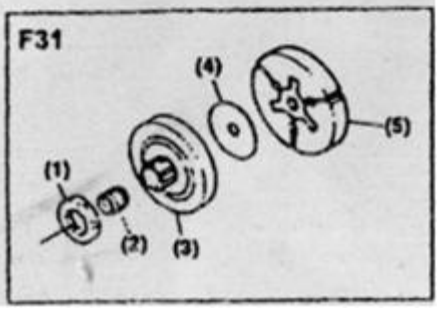
■毎回使用後のメンテナンス

１．エアクリナーを軽くたたいて表面上のホコリをたたき落とし、網の目に汚れを入った場合はガソリンで洗い、高圧エアで内側から汚れを吹き落とす。(図 F25)









2．オイル注入口
ガイドバーを取り外し、オイル注入口が詰まっているかどうかを確認。（図 F26）

3．ガイドバー
ご使用中に、切り屑がガイドバーにつまることがあります。切り屑がガイドバーの溝につまりますと、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切り屑を除去してください。（図 F27）
（1） オイルポット
（2） 潤滑ポット
（3） スプロケット，（鎖歯車）

4．その他
燃料漏れ、ネジ緩め、主要パーツにダメージが入っているかどうかを目視確認する。特にハンドルの継ぎ目、ガイドバーの緩み。不具合が見つかり次第、必ず直してからご使用してください。

■定期的なメンテナンス
1．シリンダー
シリンダーの隙間にホコリがたまっていくと、エンジンを過熱する恐れがあります。定期的にエアクリナーとシリンダーカバーをはずして、シリンダー隙間を清掃してください。
清掃後、シリンダーカバーを戻すときは、スイッチワイヤとワッシャを正しい位置に戻してください。（図 F29）
注意！
送風口を必ず塞がれた状態に確認する。

2．点火プラグ（図 F30）
電極側をワイヤブラシで清掃し、必要に応じギャップの幅を 0.65mmにリセット下さい。
3．スプロケット，（鎖歯車）
ひび割れ、歯車とチェーンドライバーの噛み合い状態をチェック、必要に応じチェーンといっしょにセットで新品交換してください。

（図 F31）
（1） 鎖歯車
（2） ベアリング
（3） クラッチドラム
（4） スペーサー
（5） クラッチ輪止め

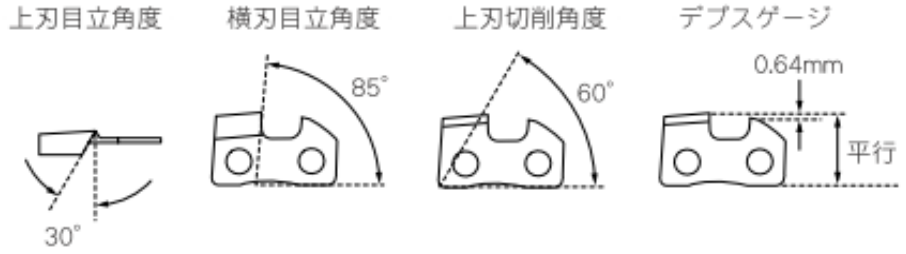
4. 燃料フィルター
フィルターを外しガソリンで洗いか、新品交換してください。
5. オイルフィルター
フィルターを外しガソリンで洗いか、新品交換してください。
6. 前と後ダンパー
ゴムパーツに明らかなヒビ、または皮剥がれることが確認できたら、新品交換してください。

10.チェーンとガイドバーのメンテナンス

チェーン刃の目立て

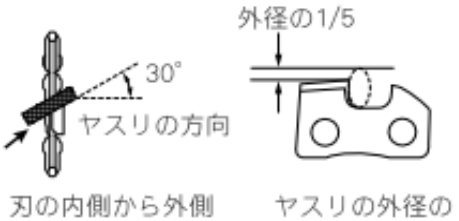
⚠警告

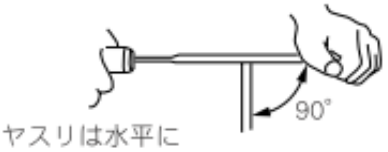
チェーン刃は正しく目立てしてください。
・特にデプスゲージの寸法が大きくなり過ぎますと、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。



上刃および横刃の目立て

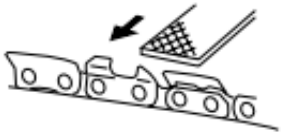
・ガイドバーに対して丸ヤスリを30°傾け、丸ヤスリの直径1/5が上刃よりでるようにチェーン刃に当ててください。
・丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。





デプスゲージの目立て

・平ヤスリをデプスゲージに水平に当て目立てしてください。



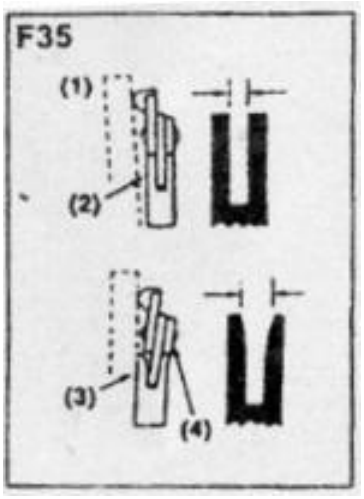
・デプスゲージの角に丸みを付けてください。
・チェーン刃の目立てが終りましたら、オイルに浸して切粉を洗い落としてください。

注意！

・刃部の目立てには、外径が 4.76mm（呼び 3/16’’）の目立て専用丸ヤスリを、またデブスゲージの目立ては、目立て専用平ヤスリをご使用下さい。

■ガイドバーレール

- ときどきガイドバーがきちんと嵌め込まれているかを確認してください。
- ガイドバーをバーレール（四角い）の中に入れ、物差しを使ってすきまがあるかどうかを確認。 すきまがはっきり確認できる場合はレールが正常で、すきまが確認できない場合はレールが使い古したので、新品に交換する必要があります。（図 F35）
  （1） 物差し
  （2） ギァップあり
  （3） ギアップなし
  （4） チェーンが傾きの様子



11. 商品諸元

1	モデル名	HR-5200 ／ HR-4500
2	重さ(ガイドバーとチェーン含まず)	5.2kg ／ 4.9kg
3	長さ(ガイドバーとチェーン含まず)	410×235×265mm
4	燃料	2 サイクル混合ガソリン (25:1)
5	燃料タンク容量	550ml
6	チェーンオイル	Motor oil SAE#10W-30
7	オイルタンク容量	260ml
8	エンジン排気量	53.2cm^3
9	エンジンパワー (MAX)	2.2kw/7000rpm
10	エンジンスピード (作業中)	10000rpm
11	エンジンスピード (空回り)	3000rpm
12	切断長さ(MAX)	38cm ／ 32cm
13	鎖歯車の歯	7T×0.325
14	ソーチェーンタイプ	K2L (CARLTON)
15	ソーチェーンピッチ	0.325(in)
16	ソーチェーン標準寸法	0.058(in)
17	ガイドバータイプ	Sprocket nose
18	ガイドバーサイズ	18、20、22(in)
19	オイル供給システム	自動調整ポンプ式
20	消耗品	・ソーチェン ・ガイドバー 送料無料で、同梱対応致します。

ハイガー汎用製品についてのお問い合わせ・ご相談は、
ハイガー・HAIGE 産業株式会社
〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀 2656
☎:0276-89-8605 0276-89-8606
✉:support@haige.jp
URL:http://haige.my-store.jp/